

もしも安城市が お札を発行するなら？

里町小学校 6年 脇田 透亜

動機

学校で歴史博物館に行き、安城市の事を勉強したので、きっかけに、7月に新しいお札が発行され、ちがう人になって、もしも安城市が一つの国でお札を発行するならどんな人、ものを選ぶのかを考えたらおもしろそうだなと思、たから。

方法

- ・お札に関する本を読む
- ・安城市の昔の資料を見る
- ・実際の施設へ行く

お札発行の歴史

お札ができるまでは、物を交換して欲しいものを手に入っていた。その後683年に貨幣が作られ、江戸時代になると伊勢(三重県)の商人たちが糸代で作られた「山田葉書」を使い始め、これが初めてのお札(貨幣)と言われている。全国で紙幣が使われるようになったのは明治時代になってから。



山田葉書(山田葉書は江戸時代中期に作られた)

お札にはどんな人が選ばれるの？

- ・なるべく実在の人・業績があり知名度の高い人
- ・親しみやすく、尊敬され、日本を代表する人
- ・偽造防止のためなるべくはっきりした細かな写真・絵画が入りできる人
- ・人の目もひく特ちょうのある顔の人

お札のデザインはなぜ変わるの？

その時代の経済状況で変えたり、偽札が作られることを防ぐため約20年ごとにデザインを新しくして、安心して使えるようにしている。

なぜ人物は右側に描かれているの？

銀行などでお札を数える時に、左手でお札を持って描かれている人物と向き合うように数えるのが一般的なため。

今まで何人の人が選ばれているの？

- 神話伝説の人 3人
 - 実業家・社会事業家 2人
 - 政治家 8人
 - 教育者 3人
 - 文学者 3人
 - 研究者 2人
- 計 21人

お札に登場する日本の象ちょう

富士山、赤松、鳳凰(ほうおう)、丹頂鶴(たんていこう)、燕子花(かきつばた)、藤の花、木安法隆寺夢殿、国会議事堂、日本銀行旧館、葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」、東京駅丸の内駅舎、守礼門

選んだ人物

都築 弥厚 1765(明和2)年～1833(天保4)年

用水路計画の発案者



碧海郡和泉村(今の安城市和泉町)に生まれる。
自分の村だけでなく、地域全体を豊かにしたいという強い思いから、矢作川から水を引き新しい水路を作るいうとても大きな計画をした人。
周囲の反対や資金不足、病気など苦勞。完成を見ることなく病死。
しかし、夢は引き継がれ、用水路が完成。その用水路は「明治用水」と呼ばれ、今でも多くの農地に水を運び、人々の生活を支えている。

選んだ理由

地域への貢納、あきらめない気持ち、先を見る力、自分だけでなく周りの人のことも考え、もっと良くしたいという強い思いで夢を実現したのはすごいし、今でも明治用水は生活に必要とされていてすごいと思ったから。

大見 為次 1894(明治27)年～1962(昭和37)年

若き安城の希望の星だった



安城市の政治家として初代安城市長を務めた。上下水道の整備や道路を広くしたり、学校を増やし、教育の質を高めた。その他に工業団地を作り、企業が安城に来てくれるように働きかけて経済を発展させた。

選んだ理由

常に安城市のことを考え、今の安城市があるのはこの人の功績のおかげが大きく関係しているから。

新美 南吉 1913(大正2)年～1943(昭和18)年

日本の児童文学者



愛知県半田市に生まれ、小さい頃にお母さんが亡くなり、養子に出されるなど苦勞が多かった。昭和14年4月から今の安城市新田町で下宿を始め、本を書きながら安城高等女学校(今の安城高校)で先生をしていた。
安城市の景色や暮らしが作品に大きな影響を与えた。
代表作… こんごつね、手袋を買いに、おじいさんのランプ など

選んだ理由

安城生まれではないけれど、安城市で働き、描いた絵本は安城市での生活が影響されているのと、学校の国語で習って家にも絵本があって身近に感じたから。

寺部 だい 1882(明治15)年～1966(昭和41)年

安城の女子教育を切り開いた人

貧しい家に生まれ、たくさんの苦勞をした中で「勉強をしたい」、「先生になりたい」と強く思い、目標に向かってがんばった。昔は女性が男性のように学ぶことがむずかしかった時代だったが1912年、念願かない女生の自立と教育の大切さを教えるため、安城裁縫女学校(今の安城学園)を創った。
日本の女性教育の先駆者であり、安城市の発展にも大きく貢献した人。



選んだ理由

女の人にも男の人と同じように学べる機会を与え、自分だけでなく、みんなが幸せになれる社会を作ろうとがんばったのがすごいと思ったから。

選んだ象徴

安城七夕まつり

終戦後の暗い雰囲気があった中、商店街の大売り出しや花火大会が行われたりと人とまちとの交流が活発になっていった。こうしてまつりの下地が育っていく中で1952(昭和27)年に市政が施行され、安城市が誕生するとまつりももっと盛大なものにしようと企画がスタート。
1954(昭和29)年に第1回「安城七夕まつり」が開催された。1978(昭和53)年には日本商工会議所100周年記念の「全国郷土祭」においてこだわりの竹飾りを披露したことから、仙台・平塚と並んで「日本三大七夕」と称されることとなり、名実ともに日本を代表する七夕まつりとなった。



選んだ理由

長い歴史があって、市民の手によって作りあげられていて、安城の人たちにとっても愛されているおまつりだから。

サルビア

1972(昭和47)年に市制20周年を記念して、市民投票により安城の花として選定された。そして、市制50周年にサルビアのつぼみの帽子をかかった花の妖精「サルビー」が誕生。

選んだ理由

日本のお札にも花や植物が使われてきていて、安城市のお札にも思ったから。



明治川神社

安城市東栗町にある明治用水開削の功労者の人たちを祀っている神社。当時使われていた道具などを所蔵している。

選んだ理由

用水路計画の発案者都築弥厚も人物として選んでいて、この場所は、切っても切れない場所だと思ったから。



東海道の松並木

江戸時代に人々が行きつた東海道に植えられた。安城の松並木は徳川家康が東海道を整備した時に植えたといわれている。今ではかなり減ったが、江戸時代の面影が強く残っていて、今あるものうち、大きいものは樹齢200~250年と推定されている。



選んだ理由

地域の人たちに愛され大切にされてきたし、歴史の教科書にのっている人も同じ道を通ったと思うとすごいなと思ったから。

お札のデザイン

1万円札(たて76mm 横160mm)



人物...大見為次

象徴...東海道松並木

5千円札(たて76mm 横156mm)



人物...都築弥厚

象徴...明治川神社

2千円札(たて76mm 横154mm)



人物...寺部だい

象徴...サルビア

千円札(たて76mm 横150mm)



人物...新美南吉

象徴...安城七夕まつり

まとめ

いつも何気なく使っているお金だけど、調べてみると、いろいろなことが決まっていたり、工夫がされていることがわかった。

今の安城があるのは、昔の人が自分のためだけでなくみんなのためという強い思いがあって、かんばってきてくれたおかげだと思った。

もっと安城市のことが好きになった。

ぼくが大人になった20年後、どんなお札が発行されるのか、そして安城市がどんなまちになっているのか楽しみです。

参考文献

- おれになった!偉人のひみつ ①実業家・政治家偏
発行者: 升川和雄 発行所: 株式会社教育画劇
- おれになった!偉人のひみつ ②王族・研究者・指導者偏
発行者: 升川和雄 発行所: 株式会社教育画劇
- おれになった!偉人のひみつ ③作家・芸術家・教育家偏
発行者: 升川和雄 発行所: 株式会社教育画劇
- おれになった21人の偉人 なるほどストーリー
編集: こじもくらぶ 発行: 山浦真一 発行所: 株式会社あすなろ書局
- あんじょう地元学 「人物」初級編
編集: あんじょう地元学編集委員代表 草苺玲子
発行: 安城生涯学習まちづくり企画人
印刷: 光文堂印刷所
- 安城市ホームページ city.anjo.aichi.jp
- 安城市観光協会ホームページ anjo-tanabata.jp
- 独立行政法人国立印刷局 npb.go.jp
- 新美南吉記念館 nankichi.gr.jp
- 明治用水の歴史: 東海農政局 maff.go.jp
- 都築弥厚(つぎやこう) - 明治用水計画をつくった人 - aichi-c.ed.jp
- 寺部 だい先生の生涯 - 学校法人安城学園 anjogakuen.jp
- 大見 為次 <https://ja.wikipedia.org> > 大見為次